

沖高生の軌跡（キセキ）

令和5年12月8日

掲載元：奄美新聞社
日付：12月4日（月）

トップアスリートが指導

県出身の鶴田選手と鐵丸選手講師
陸上の楽しさ児童生徒に伝える



走り高跳びの踏み切りのコツを教える鐵丸美由紀選手（沖永良部高校グラウンド）

子どもたちに指導する鶴田玲美選手（沖永良部高校グラウンド）

【沖永良部】おきの農部スポーツクラブE LOVE主催が3日、ドであった。県出身の州ファミリーマート＝鹿児島銀行が講師として来島。島内の児童生徒約60人に陸上の楽しさを伝えた。

教室では、2選手の専門競技である短距離走と走り高跳びを指導。100m走の自己ベスト記録が11秒4の鶴田さんは「速く走るためには股関節の動きが大事になる」とアドバイス。走り高跳びで1m82cmが自己ベストの鐵丸さんは「腕を大きく振ると足も高く上がる」と話す。助走から踏み切りまでの動きを子どもたちに見せた。

練習後、各競技に挑戦した子どもたちは、教えてもらつたことを確認しながら、思い切り体を動かしていた。

100m走を走り終え

トップアスリート、鶴田玲美選手（26）＝南九州ファミリーマート＝鹿児島銀行が講師として来島。島内の児童生徒約60人に陸上の楽しさを伝えた。

教室では、2選手の専門競技である短距離走と走り高跳びを指導。100m走の自己ベスト記録が11秒4の鶴田さんは「速く走るためには股関節の動きが大事になる」とアドバイス。走り高跳びで1m82cmが自己ベストの鐵丸さんは「腕を大きく振ると足も高く上がる」と話す。助走から踏み切りまでの動きを子どもたちに見せた。

練習後、各競技に挑戦した子どもたちは、教えてもらつたことを確認しながら、思い切り体を動かしていた。

100m走を走り終えた知名小5年の平結衣さん（11）は「短距離を走る時の手の振り方も教えてもらつたので、気を付けて走つてみた。2人とも優しく教えてくれた」と話した。

鐵丸さんは「楽しそうに高跳びをしていたので、ともうれしかった」。鶴田さんは「短い時間だったが、子どもたちの一生懸命な姿が印象的だった。まずは楽しみながら、だんだんと速く走れるようになつていってほしい」と述べた。

た知名小5年の平結衣さん（11）は「短距離を走る時の手の振り方も教えてもらつたので、気を付けて走つてみた。2人とも優しく教えてくれた」と話した。

鐵丸さんは「楽しそうに高跳びをしていたので、ともうれしかった」。鶴田さんは「短い時間だったが、子どもたちの一生懸命な姿が印象的だった。まずは楽しみながら、だんだんと速く走れるようになつていってほしい」と述べた。